

iSPP 議事録

ミーティング名	第2回 iSPP 定時総会			主催	iSPP		
開催日日時	2012年6月23日(土) 14:00 ~ 17:30	会場	JICA 地球広場 401 会議室	記録者	佐藤大(東北執行局)		
議事録署名人	河合孝彦			会田和子			
出欠	出席者						
	会員数 112	定足数 57					
		委任 43 名	出席 24 名	合計 67 名			
審議決定事項	議題	提案者		結果	備考		
	定足数の確認 議長選出	iSPP 理事会		承認			
	第1号議案: 初年度活動の報告	iSPP 理事会		承認			
	第2号議案: 初年度決算の承認	iSPP 理事会		承認			
	第3号議案: 定款の改正	iSPP 理事会		承認			
	第4号議案: 2年度役員を選任	iSPP 理事会		承認			
	第5号議案: 2年度活動方針の承認	iSPP 理事会		承認	付帯決議として、メルマガ WG(リーダー: 間壁)を承認。		
第6号議案: 2年度予算の承認	iSPP 理事会		承認				
指示 要請事項	内 容			指示・依頼者	責任者	期限	
	広報活動の一環としてメールマガジンの発行準備			酒井	間壁		
	議事録の統一フォーマット化と一元管理			岸原(な)	岸原(な)		
	Ust 配信を予定している会議では会議案内にその旨を告知する			小泉	WEB チーム 映像チーム		
	会議の出欠確認フォーマットの統一化。告知はマルチでも受け側は1つに集約。			岸原(た)	事務局		
	ML、FB の目的、参加者等の整理			佐藤	WEB チーム		
検討・ 議論事項	内 容						
	定足数の確認 会員数: 112、定足数 57、委任 43 名、出席 24 名						
	1. 議長選出						
	議長: 会津代表理事 司会進行: 岸原事務局長 議事録署名人: 会田、河合						
	2. 議事						
	*** 第1号議案: 初年度活動の報告						
	事務局から報告(資料 pp2-8) 会員の状況: 正会員 115、賛助会員 2、オープンフォーラム 505 設立準備: 3/21 設立準備会 ~ 全体会合: 5/24 設立総会、その後 10 回 東北会合: 5/28 第1回東北会合 ~ 3/27 仙台市教育委員会から感謝状を拝領。						
	プロジェクト・WG 情報行動調査 WG: 5/17-8/23						

仙台8万人のカプロジェクト: 11/18-3/22
ハブ提供プロジェクト: 1/20-
理事会: 6/6, 8/2
事務局会議: 5/30-2/9
広報: web, FB, twitter ,ust, youtube, ML など
報告書・パブコメ
7/26 情報行動調査速報版
9/30 報告書公刊
12/15 総務省にパブコメ提出
3/5 書籍「3/11 被災地の証言」
その他: ブース出展、講演、発表など

*** 第2号議案: 初年度決算の承認

吉田から報告

6/5 牧野二郎法律事務所で監査実施
決算報告書は正しい。理事の職務執行に重大な事実は認められず。
貸借対照表などを見ると、非常に成績が良い団体。
法人化を検討してはどうか。

岸原から報告(資料 pp11-12)

対予算比、収入 -17,458,280、支出 -17,657,503、差引 299,223

第1、2号議案に特に意見無し。

第1、2号議案ともに、原案通り拍手で承認。

*** 第3号議案: 定款の改正

法人の所在を、東京都渋谷区から東京都目黒区に変更。
役員の数員を、理事 3-20 人から 3-23 人に変更。

第3号議案に特に意見無し。

第3号議案を、原案通り拍手で承認。

*** 第4号議案: 2年度役員を選任

新任の理事: 大橋(岩手から)、佐藤、玉槻(宮城から)、三浦(福島から)
退任の理事: 藤川(時間が取れないため。会員には残る)

第4号議案に特に意見無し。

第4号議案を、原案通り拍手で承認。

*** 第5号議案: 2年度活動方針の承認

会津から報告(資料 pp18-22)

被災地はまだまだ厳しい状況で、引き続き支援が必要。風化のおそれも。

iSPP は少なくとも 10 年は活動することが目標。まだ 2 年目。

目標: 1. 真に役立つ、2. 東北での活動を強化、3. 社旗全体への発信・提案・提言を継続

活動原理: 多様な活動の共通基盤を形成・提供

組織の強化: 「東北執行局」の設置を提案

主な活動:

1) 全体 / 東北会合、2) 調査研究、3) 教育・学習、4) 国際活動、5) 防災・減災への取り組み、6) 広報・発信・交流活動

(具体案は資料 p20 参照)

組織構成: 資料 p21 参照

会員構成: 大きな変更は無し。

賛助会員のあり方は、企業側の動きやすさ等を考慮して今後も要検討。

具体的な活動案:

(調査研究)

東日本大震災におけるインターネット活用型支援活動の実態調査 - IPA による公募調査

震災復旧復興支援活動検証調査 - 遠野まごころネットからの委託事業

(国際活動)

東北学習ツアー・ミニ国際会議 - 海外参加者が主対象

(教育・学習)

被災地対象学習ツアー - 10 年程度の定点観測が目標

(防災・減災)

大規模災害時における情報伝達・共同訓練ワークショップ - 災害発生後の ICT 活用の実地訓練

(広報・交流)

定例会合の開催

情報発信

(総務)

事務局運営

第5号議案への意見:

会員獲得の上で、活動が目に見えないのが問題。メルマガなどの外向けの広報が出来ないか。

企画では上がってきている。原稿が必要。WG 等で展開したい。

定期的に出せるコンテンツが必要。情報行動調査の内容紹介などはどうか。

日々の活動を報告できるよう、記録を蓄積しておくことも重要。

定期的なまとめるタイミングが欲しい。

個人の報告と組織としての報告を明確にすべき。

議事録も統一フォーマットが必要。

*付帯決議として、メルマガ WG(リーダー:間壁)を承認。

内部の情報共有体制の整備が必要。

いろんな人がいろんなものを立ち上げている。ML や FB が併存。

会員向け ML とオープンフォーラムは分かるが、抜本的に見直す必要がある。

本日の参加者も、FB、メール、参加フォームと不統一だった。

内部の中でも、活動度の違い等を考慮すべき。

ust 配信も広報されず、見てもらえない。1行追加で済むので、活用したい。

テレビ会議的な物のワークショップも進めたい。

各団体を横に繋げるやり方が分からない。どう巻き込むかの議論が必要。

横の繋がりは積極的に作っていなかった。活動方針に入れても良いかも。

見えない連携はあっても、可視化されていない。

(東北執行局)

提案趣旨は、東北における活動の受け皿の整備

東北執行局に入る理事は誰か。

大橋、佐藤、玉槻、地主、三浦、後見人:小島。

東北が自主的に動くための体制

予算はどのように考えるのか?

次の議案と一括で説明する。

東北執行局で予算が必要な場合は理事会で承認が必要

*** 第6号議案: 2年度予算の承認

岸原から説明(資料 P24)

収入 / 支出 7,329,223(繰越予定 2,219,223)

東北執行局分も、理事会の下で予算を執行する。

第5号、第6号議案を、原案通り拍手で承認。

〔結論〕

第1号議案～第6号議案全て承認

【総会終了後記念セミナーを開催】

被災地からの報告

被災者支援を続けてきて

澁谷直美 ガーネットみやぎ代表

自治体 BCP の検討状況

今井建彦 仙台市情報政策部長

沿岸被災地の復興状況

斎藤正宏 遠野まごころネット理事・事務局長

福島の厳しい状況のなかで

会田和子 いわきテレワークセンター代表取締役社長

	テーマ	内容	責任者	期限
次回 持越 審議 事項	指示・要請事項	先に付き、事務局会議で取りまとめの上、報告のこと	各責任者	
備考	会議室使用料: 3,000 円 セミナー終了後スペイン BAR ARROZ にて懇親会開催			

氏名は原則的に敬称・役職名略(臨時出席者のみ必要に応じて付加)

会議室使用にあたり、費用が発生した場合には備考欄に金額を記載してください。

参加者多数の場合には別途出席者名簿を添付していただいても結構です。

議事録を保存する際には、ファイル名を「iSPP 会議議事録_2年度第1回東京例会_yymmdd」のように会議名称と日付を更新してください。